

【皮下DBd①1～3コース目減量・休薬・中止基準】

N Engl J Med 2016;375:754-66.

減量	ダラキューロ	ベルケイド
開始量	1800mg/body	1.3mg/m ²
1段階	減量しない	1.0mg/m ²
2段階		0.7mg/m ²
3段階		中止

有害事象	Grade	用量調整
注入に伴う反応	3	3回発現した場合、ダラキューロ中止
	4	ダラキューロ中止
血液毒性	4	ダラキューロ休薬
血小板数減少 出血を伴うGrade3		Grade2以下になるまで休薬し、ベルケイド1段階減量
血小板数減少	4	Grade2以下になるまで休薬し、ベルケイド1段階減量
Grade3以上の非血液毒性		ダラキューロ休薬
※下記の場合は除く		
・制吐療法に反応する悪心・嘔吐	3≦	
・止瀉薬に反応する下痢	3≦	
・ベースライン時に認められていた、又は最終投与後7日未満持続するGrade 3の疲労又は無力症		
末梢性ニューロパチー		
疼痛 or 機能消失を伴わないGrade1		減量しない
疼痛を伴うGrade1 or Grade2		ベルケイド1.0mg/m ² に減量
疼痛を伴うGrade2 or Grade3		ベルケイド回復するまで休薬。回復後0.7mg/m ² で投与
Grade4		ベルケイド中止
ベルケイドが原因の毒性	3≦	Grade2以下になるまで休薬し、ベルケイド1段階減量
※血小板数減少と末梢性ニューロパチーを除く		